

2023年8月8日

これまでに胸部手術を受けた患者さんへ 【過去の診療情報の調査研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属順天堂医院呼吸器外科では「区域切除術後特有の重篤な合併症の頻度と特徴」という研究を行っております。この研究は、胸部手術後特に区域切除後に発生する合併症の頻度と発生予測因子を調べることを主な目的としています。そのため、過去に胸部手術を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

この研究の対象となる患者さんは、西暦2008年1月1日から西暦2023年3月31日の間に呼吸器外科で手術を受けた方です。

・利用させていただくカルテ情報、およびカルテ期間は下記です。

年齢、性別、診断名、併存症、呼吸機能検査結果、術前血液ガス所見、血液生化学検査所見、臨床病期、病理検査所見、術式、手術アプローチ、手術時間、出血量、手術所見、予後情報：再発所見、生存期間、死因、死亡時期

・収集期間：西暦2008年1月1日～2023年8月31日

・試料・情報の管理責任者：順天堂大学医学部附属順天堂医院（研究責任者：鈴木健司）

○この研究は順天堂大学医学部医学系研究等倫理委員会の承認を受けて行われます。

・研究実施期間 研究実施許可日 ～ 西暦2025年12月31日まで

・研究責任者 鈴木健司

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。

調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

この研究は、呼吸器外科の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。

○本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。また、本研究の研究責任者および研究者は、「順天堂大学医学系研究利益相反マネジメント規程」および「人を対象とする医学系研究に係る利益相反に関する標準業務手順書」に従って、順天堂大学医学部医学系研究利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審

査を受けています。

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望や、研究に関するご質問がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

順天堂大学医学部附属順天堂医院 呼吸器外科

03-3813-3111

研究担当者：大熊真理